

	第1会場：さくらホール	第2会場：大講義室	第3会場：講義室
10:00	開会式 大会長挨拶		
10:10     11:05	<b>講演1</b> 臨床現場での疼痛緩和のための鎮静 ～倫理、症状緩和、薬剤の使用方法和評価～ 座長：川島 正裕 演者：池永 昌之、新城 拓也	<b>一般演題1</b> オピオイド・痛み以外の身体症状 座長：多田 雅 電平	<b>一般演題2</b> 精神・心理・社会的ケア・終末期・倫理的問題 座長：江藤 美和子、岡山 幸子
休憩			
11:15       12:10	<b>講演2</b> モルヒネ、オキシコドン、フェンタニール、タベンタドール、ヒドロ モルフォン、メサドン 6つのオピオイドどうするの？あなたならどう使い分ける？ 座長：新城 拓也 演者：宮部 貴識、山代 亜紀子	<b>シンポジウム1</b> 教えて！がん患者の栄養マネジメントとリハビリテーション 座長：大内 沙也子、島崎 寛将 演者：岩本 昌子、牧浦 大祐、瀧本 恵佳	<b>一般演題3</b> 多職種協働・チーム医療、看護介入 座長：荒尾 晴恵
休憩			
12:25   13:15	<b>ランチョンセミナー1：タベンタ錠</b> オピオイドのパラダイムシフト ～時代に即したがん疼痛治療を考える～ 座長：月山 淑 演者：山崎 圭一 共催：ムンディファーマ株式会社	<b>ランチョンセミナー2</b> がん緩和ケアでは疼痛コントロールは最低条件 ～痛くてACPできますか？～ 座長：川島 正裕 演者：小杉 寿文 共催：第一三共株式会社	/
休憩			
13:25     14:45	<b>シンポジウム2</b> 地域でがん患者と家族を支えるために ～病院と地域の視点からACPのあり方を考える～ 座長：池永 昌之 演者：清水 政克、三輪 恭子 所 昭宏、関根 知嘉子	<b>一般演題4</b> 在宅緩和ケア、非がん患者の緩和ケア、教育、研究 座長：小山 敦子	<b>一般演題5</b> 多職種協働・チーム医療、リハビリテーション 座長：島崎 寛将、大内 沙也子
休憩			
14:55     16:15	<b>シンポジウム3</b> 緩和ケアのパラダイムシフト ～これからの緩和医療とホスピスケアのあり方を考える～ 座長：山崎 圭一 演者：安保 博文、多田 雅 電平 江藤 美和子、岡山 幸子	<b>一般演題6</b> フレッシュマンセッション 座長：柏木 雄次郎、杉江 礼子	<b>一般演題7</b> ホスピス・緩和ケア病棟 座長：川島 正裕、宮部 貴識